



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東
 コード番号 8111 URL <https://www.goldwin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 貴生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 白崎 道雄 TEL 03-3481-7203
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	86,746	17.6	18,281	29.1	21,924	41.9	16,268	50.8
2022年3月期第3四半期	73,782	6.6	14,157	4.3	15,453	11.3	10,789	16.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 17,240百万円 (55.6%) 2022年3月期第3四半期 11,077百万円 (19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	361.12	—
2022年3月期第3四半期	237.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	119,084	74,649	62.6
2022年3月期	99,085	63,411	63.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 74,523百万円 2022年3月期 63,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	65.00	85.00
2023年3月期	—	25.00	—		
2023年3月期（予想）				65.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,500	15.5	20,300	23.0	26,200	29.2	20,000	39.4	443.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	47,448,172株	2022年3月期	47,448,172株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,413,795株	2022年3月期	2,202,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	45,049,778株	2022年3月期3Q	45,379,137株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な資源価格の高騰、為替相場の急激な変動等の不透明な状態が続く中ではあるものの、新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種の進展、行動規制の緩和等、Withコロナを前提とした経済活動の正常化が進みました。

このような状況下、当社におきましては、行動規制の緩和や訪日外国人の増加等による市場環境の回復を追い風として、第3四半期累計として過去最高の成果を上げることができました。中でも、発売から30周年を迎えたTHE NORTH FACE「ヌプシジャケット」のプロモーション等によって、ダウンジャケットやフリース類の消化が、秋冬シーズンのスタート時点から好調に推移しました。また、10月11日からの水際対策の緩和による訪日外国人が増加するタイミングで、オリジナルブランドGoldwinでは、環境に配慮した新しいプロジェクト「Goldwin 0 (ゴールドウイン ゼロ)」として初めてのコレクションを発表したことも、新規顧客層の開拓に貢献しました。その後、11月に入ってから、平年と比べ平均気温の高い状態が続く中ではあったものの、マラソン大会等のスポーツイベントの再開に加えて外出規制の緩和が進んだことから、THE NORTH FACEを中心に前期を上回る推移となりました。12月に入ってから、全国的に大型寒波が到来する中、昨年はベトナムのロックダウンの影響で納期遅延が発生した中綿入りブーツ等の防寒具商品について、今年は安定した供給体制を維持したことが売上伸長に貢献しました。これらの結果、売上高は前年同期比17.6%増の86,746百万円となりました。

営業利益は前年同期比29.1%増の18,281百万円となり、第3四半期としては2020年3月期に記録した16,197百万円を上回って、過去最高益を更新しました。これは、原材料高、円安基調の影響に伴い、一部商品の販売価格の見直しを進めましたが、値上げに伴う買い控え等の影響は認められず、想定を上回る販売数量を確保することができました。こうした結果、売上総利益率は53.2%と前期並みを維持しました。また、販売費及び一般管理費は、期初に見込んでいた設備投資計画について一部案件の延期はあるものの、経費執行については概ね計画通りの進捗となりました。

経常利益は、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの業績が日本同様、韓国においても記録的な寒波の影響によって、ダウンジャケット等の防寒具類が好調に推移したことを主因として、前年同期比41.9%増の21,924百万円となりました。なお、同社業績については、在庫管理を徹底し、消化率の改善に努めたことによって、秋冬シーズンに入ってから、売上、利益ともに過去最高水準を継続しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高86,746百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益18,281百万円（前年同期比29.1%増）、経常利益21,924百万円（前年同期比41.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,268百万円（前年同期比50.8%増）となりました。

なお、2023年1月18日に、創業の地である富山県で2026年内の開業を目指して推進しているプロジェクト「GOLDWIN PLAY EARTH PARK」の最初の予定地を南砺市に決定しました。この計画に基づき、長期ビジョン「PLAY EARTH 2030」の達成に向けて取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ19,999百万円増加し、119,084百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加6,306百万円、投資有価証券の増加3,943百万円、現金及び預金の増加2,858百万円等があったためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,761百万円増加し、44,434百万円となりました。これは主に、賞与引当金の減少1,120百万円があったものの、電子記録債務の増加10,199百万円等があったためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ11,237百万円増加し、74,649百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加12,063百万円等があったためであります。その結果、自己資本比率は62.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高113,500百万円（当初業績予想106,000百万円）、営業利益20,300百万円（同17,000百万円）、経常利益26,200百万円（同21,400百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益20,000百万円（同16,000百万円）に修正いたします。これは当第3四半期連結累計期間の業績結果が予想を上回ったことを受けてのものであります。

コロナ禍の収束は依然として見通しにくいものの、インバウンド需要の回復によって、THE NORTH FACEやGoldwin等における高価格帯商品の販売が好調に推移していること等の明るい材料が認められており、経済活動の回復が進展することを見越しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,406	29,264
受取手形、売掛金及び契約資産	11,032	17,338
電子記録債権	2,797	5,359
商品及び製品	12,554	13,184
仕掛品	326	344
原材料及び貯蔵品	542	649
その他	1,841	5,311
貸倒引当金	△13	△9
流動資産合計	55,486	71,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,718	2,268
土地	4,691	4,691
その他（純額）	2,231	1,909
有形固定資産合計	8,642	8,870
無形固定資産		
商標権	1,490	1,276
その他	1,602	1,994
無形固定資産合計	3,093	3,271
投資その他の資産		
投資有価証券	24,060	28,003
差入保証金	2,708	2,738
その他	5,282	4,946
貸倒引当金	△188	△188
投資その他の資産合計	31,862	35,499
固定資産合計	43,598	47,640
資産合計	99,085	119,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,904	5,002
電子記録債務	12,223	22,423
短期借入金	—	620
1年内返済予定の長期借入金	1,437	940
未払法人税等	3,112	2,150
賞与引当金	1,648	528
その他	7,060	8,204
流動負債合計	30,386	39,869
固定負債		
長期借入金	2,751	1,947
退職給付に係る負債	217	190
株式給付引当金	947	1,034
その他	1,371	1,392
固定負債合計	5,287	4,565
負債合計	35,673	44,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	276	297
利益剰余金	61,356	73,419
自己株式	△5,377	△7,153
株主資本合計	63,335	73,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	716
繰延ヘッジ損益	98	222
為替換算調整勘定	196	651
退職給付に係る調整累計額	△830	△711
その他の包括利益累計額合計	△56	879
非支配株主持分	132	126
純資産合計	63,411	74,649
負債純資産合計	99,085	119,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	73,782	86,746
売上原価	34,135	40,590
売上総利益	39,647	46,156
販売費及び一般管理費	25,489	27,874
営業利益	14,157	18,281
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	58	67
持分法による投資利益	1,286	3,513
その他	99	177
営業外収益合計	1,451	3,767
営業外費用		
支払利息	66	32
手形売却損	20	4
保険解約損	22	10
その他	46	77
営業外費用合計	155	124
経常利益	15,453	21,924
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	15	5
子会社清算益	—	80
特別利益合計	15	85
特別損失		
固定資産処分損	6	92
店舗閉鎖損失	5	7
その他	0	6
特別損失合計	11	106
税金等調整前四半期純利益	15,457	21,903
法人税、住民税及び事業税	4,338	4,995
法人税等調整額	266	603
法人税等合計	4,605	5,598
四半期純利益	10,852	16,304
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,789	16,268

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,852	16,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	236
繰延ヘッジ損益	△10	△6
為替換算調整勘定	176	293
退職給付に係る調整額	228	123
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	288
その他の包括利益合計	224	936
四半期包括利益	11,077	17,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,014	17,204
非支配株主に係る四半期包括利益	62	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年2月8日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第36条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、2022年6月30日までに自己株式293,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,776百万円増加しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これに伴う影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。